

様式第 9

循環型社会形成推進地域計画目標達成状況報告書

地域名	構成市町村等名	計画期間	事業実施期間
岩国地域	岩国市、和木町	平成 26 年度～平成 31 年度	平成 26 年度～平成 31 年度

1 目標の達成状況
(ごみ処理)

指 標		現状 (割合※1) (平成24年度)	目標 (割合※1) (令和2年度) A	実績 (割合※1) (令和2年度) B	実績/目標 ※2
排出量	事業系 総排出量	13,777 t	12,066 t (-12.4%)	13,697 t (-0.6%)	4.8 %
	1 事業所当たりの排出量	1.65 t	1.46 t (-11.5%)	1.35 t (-18.2%)	158.3 %
	生活系 総排出量	35,636 t	31,285 t (-12.2%)	32,017 t (-10.2%)	83.6 %
	1 人当たりの排出量	168 kg/人	159 kg/人 (-5.4%)	144kg/人 (-14.3%)	264.8 %
合 計 事業系生活系総排出量合計		49,413 t	43,351 t (-12.3%)	45,714 t (-7.5%)	61.0 %
再生利用量	直接資源化量	5,071 t (10.2%)	4,076 t (9.4%)	2,960 t (6.5%)	462.5 %
	総資源化量	13,822 t (27.8%)	12,288 t (28.1%)	17,836 t (38.8%)	3,666.7 %
エネルギー回収量	エネルギー回収量 (年間の発電電力量)	—	20,000 MWh	17,514 MWh	
最終処分量	埋立最終処分量	2,304 t (4.7%)	1,336 t (3.1%)	1,724 t (3.8%)	56.3 %

※1 排出量は現状に対する増減割合、直接資源化量・埋立最終処分量は排出量に対する割合、総資源化量は排出量+集団回収量に対する割合を記載。

※2 排出量は実績の割合/目標の割合を記載。再生利用量・最終処分量については、(実績の割合-現状の割合) / (目標の割合-現状の割合) を記載。

(生活排水処理)

指 標		現 状 (平成24年度)	目 標 (令和2年度) A	実 績 (令和2年度) B	実績/目標 ※3
総人口		144,864 人	134,891 人	131,081 人	—
公共下水道	汚水衛生処理人口	41,047 人	50,240 人	43,642 人	28.2 %
	汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率	28.3 %	37.2 %	33.3 %	56.2 %
集落排水施設等	汚水衛生処理人口	3,557 人	3,489 人	3,126 人	633.8 %
	汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率	2.5 %	2.6 %	2.4 %	-100.0 %
合併処理浄化槽等	汚水衛生処理人口	42,598 人	45,290 人	51,280 人	322.5 %
	汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率	29.4 %	33.6 %	39.1 %	231.0 %
未処理人口	汚水衛生未処理人口	57,662 人	35,872 人	33,033 人	113.0 %

※3 (実績の割合-現状の割合) / (目標の割合-現状の割合) を記載

2 各施策の実施状況

施策種別	事業番号	施策の名称等	実施主体	施策の概要	事業実施期間 (事業計画期間)	施策の実績																					
発生抑制、再使用の推進に関するもの	11	有料化 (指定ごみ袋制度)	岩国市 和木町	ごみ処理費用負担の公平性の確保、分別徹底等から有料指定袋制を継続していく。	平成 26 年度～ 平成 31 年度	可燃性ごみ、不燃性ごみの有料指定袋制を継続した。																					
	12	環境教育	岩国市 和木町	岩国市：ごみ処理施設の見学会、出前講座、啓発ビデオの利用等により、環境学習を充実させていく。 和木町：学校や地域社会の場における副読本等を活用した環境教育、本町の再資源化の取組やごみ処理施設の見学などを活用しごみ処理の現状認識を深める。	平成 26 年度～ 平成 31 年度	岩国市：施設の見学会、出前講座を実施した。 <table border="1" data-bbox="1512 454 1993 901"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>見学会</th> <th>講座</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成 26</td> <td>35 回 (1,386 人)</td> <td>0 回</td> </tr> <tr> <td>平成 27</td> <td>40 回 (1,639 人)</td> <td>2 回 (195 人)</td> </tr> <tr> <td>平成 28</td> <td>39 回 (1,556 人)</td> <td>1 回 (10 人)</td> </tr> <tr> <td>平成 29</td> <td>38 回 (1,589 人)</td> <td>3 回 (65 人)</td> </tr> <tr> <td>平成 30</td> <td>29 回 (1,374 人)</td> <td>2 回 (34 人)</td> </tr> <tr> <td>平成 31</td> <td>79 回 (2,175 人)</td> <td>12 回 (364 人)</td> </tr> </tbody> </table> <p>啓発 DVD を図書館等で貸出すとともに、施設見学者に副読本を配付した。 和木町：処理施設等の見学を実施した。</p>	年度	見学会	講座	平成 26	35 回 (1,386 人)	0 回	平成 27	40 回 (1,639 人)	2 回 (195 人)	平成 28	39 回 (1,556 人)	1 回 (10 人)	平成 29	38 回 (1,589 人)	3 回 (65 人)	平成 30	29 回 (1,374 人)	2 回 (34 人)	平成 31	79 回 (2,175 人)	12 回 (364 人)
	年度	見学会	講座																								
平成 26	35 回 (1,386 人)	0 回																									
平成 27	40 回 (1,639 人)	2 回 (195 人)																									
平成 28	39 回 (1,556 人)	1 回 (10 人)																									
平成 29	38 回 (1,589 人)	3 回 (65 人)																									
平成 30	29 回 (1,374 人)	2 回 (34 人)																									
平成 31	79 回 (2,175 人)	12 回 (364 人)																									
13	普及啓発	岩国市 和木町	岩国市：ごみ処理に関する市民の知識向上のために、広報等を利用した情報発信、イベントでの資料展示を行い、加えて市民団体の取り組み支援等を行う。また、啓発チラシ等の作成により、分別徹底を啓発する。 和木町：広報紙等を通じて情報を提供し、ごみの減量化の啓発を行う。	平成 26 年度～ 平成 31 年度	岩国市：毎月広報誌により情報発信するとともに、6月の環境月間や10月の3R推進月間等にイベント出展し、ごみのリサイクルや減量について情報提供した。 和木町：6月の環境月間や10月の3R推進月間を広報に掲載した。																						

14	助成制度	岩国市 和木町	生ごみ処理機器の購入者に対する助成事業の継続、利用方法等の公表により利用促進を図る。	平成 26 年度～ 平成 31 年度	<p>岩国市：助成事業を継続実施した。</p> <table border="1" data-bbox="1525 225 1998 469"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>コンポスト</th> <th>電気式</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>平成 26</td><td>116 基</td><td>75 基</td></tr> <tr><td>平成 27</td><td>151 基</td><td>81 基</td></tr> <tr><td>平成 28</td><td>145 基</td><td>63 基</td></tr> <tr><td>平成 29</td><td>111 基</td><td>67 基</td></tr> <tr><td>平成 30</td><td>74 基</td><td>70 基</td></tr> <tr><td>平成 31</td><td>105 基</td><td>55 基</td></tr> </tbody> </table> <p>イベント出展し、利用促進を図った。</p> <p>和木町：助成事業を継続実施した。</p> <table border="1" data-bbox="1525 539 1998 783"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>コンポスト</th> <th>電気式</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>平成 26</td><td>12 基</td><td>3 基</td></tr> <tr><td>平成 27</td><td>8 基</td><td>3 基</td></tr> <tr><td>平成 28</td><td>6 基</td><td>3 基</td></tr> <tr><td>平成 29</td><td>4 基</td><td>0 基</td></tr> <tr><td>平成 30</td><td>2 基</td><td>1 基</td></tr> <tr><td>平成 31</td><td>2 基</td><td>0 基</td></tr> </tbody> </table>	年度	コンポスト	電気式	平成 26	116 基	75 基	平成 27	151 基	81 基	平成 28	145 基	63 基	平成 29	111 基	67 基	平成 30	74 基	70 基	平成 31	105 基	55 基	年度	コンポスト	電気式	平成 26	12 基	3 基	平成 27	8 基	3 基	平成 28	6 基	3 基	平成 29	4 基	0 基	平成 30	2 基	1 基	平成 31	2 基	0 基
年度	コンポスト	電気式																																													
平成 26	116 基	75 基																																													
平成 27	151 基	81 基																																													
平成 28	145 基	63 基																																													
平成 29	111 基	67 基																																													
平成 30	74 基	70 基																																													
平成 31	105 基	55 基																																													
年度	コンポスト	電気式																																													
平成 26	12 基	3 基																																													
平成 27	8 基	3 基																																													
平成 28	6 基	3 基																																													
平成 29	4 基	0 基																																													
平成 30	2 基	1 基																																													
平成 31	2 基	0 基																																													
15	マイバック運動・レジ袋対策	岩国市 和木町	<p>岩国市：スーパーマーケット等の販売店に対して容器包装の自主回収・簡易包装の協力を要請する。</p> <p>和木町：使い捨て容器入りの製品の代わりに詰替用品の購入等の活動を推進する。また、小売店での包装の簡素化を推進する。</p>	平成 26 年度～ 平成 31 年度	<p>岩国市：広報誌によりマイバッグ利用の啓発を行うとともに、イベント出展時にマイバッグを配布し利用促進を図った。</p> <p>和木町：広報誌によりマイバッグ利用の啓発を行った。</p>																																										
16	協働推進	岩国市 和木町	<p>岩国市：ごみ減量等推進協力員の委嘱により、地域におけるごみ減量等を進める。</p> <p>和木町：町民会議を通じ、広く意見を求める。</p>	平成 26 年度～ 平成 31 年度	<p>岩国市：協力員の委嘱を行った。</p> <table border="1" data-bbox="1525 1082 1998 1326"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>ごみ減量等推進協力員数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>平成 26</td><td>3,465 人</td></tr> <tr><td>平成 27</td><td>3,300 人</td></tr> <tr><td>平成 28</td><td>3,200 人</td></tr> <tr><td>平成 29</td><td>3,169 人</td></tr> <tr><td>平成 30</td><td>3,176 人</td></tr> <tr><td>平成 31</td><td>3,166 人</td></tr> </tbody> </table> <p>和木町：毎年 6～8 回町民会議を開催し、ごみ減量化に対する意見交換をした。</p>	年度	ごみ減量等推進協力員数	平成 26	3,465 人	平成 27	3,300 人	平成 28	3,200 人	平成 29	3,169 人	平成 30	3,176 人	平成 31	3,166 人																												
年度	ごみ減量等推進協力員数																																														
平成 26	3,465 人																																														
平成 27	3,300 人																																														
平成 28	3,200 人																																														
平成 29	3,169 人																																														
平成 30	3,176 人																																														
平成 31	3,166 人																																														

	17	小型家電製品の リサイクル	岩国市 和木町	新たに制度化された小型家電リサイクル法に基づき回収・有効利用を図る。	平成 26 年度～ 平成 31 年度	岩国市：回収ボックスを 22 か所に設置するとともに、処理場でのピックアップ回収も行った。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>ボックス</th> <th>ピックアップ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成 26</td> <td>6,170kg</td> <td>45,140kg</td> </tr> <tr> <td>平成 27</td> <td>5,440kg</td> <td>57,080kg</td> </tr> <tr> <td>平成 28</td> <td>5,960kg</td> <td>49,980kg</td> </tr> <tr> <td>平成 29</td> <td>6,510kg</td> <td>54,360kg</td> </tr> <tr> <td>平成 30</td> <td>6,780kg</td> <td>84,790kg</td> </tr> <tr> <td>平成 31</td> <td>9,730kg</td> <td>59,430kg</td> </tr> </tbody> </table> 和木町：回収ボックスを 3 か所に設置し、年間約 300 k g の回収をしている。	年度	ボックス	ピックアップ	平成 26	6,170kg	45,140kg	平成 27	5,440kg	57,080kg	平成 28	5,960kg	49,980kg	平成 29	6,510kg	54,360kg	平成 30	6,780kg	84,790kg	平成 31	9,730kg	59,430kg
年度	ボックス	ピックアップ																									
平成 26	6,170kg	45,140kg																									
平成 27	5,440kg	57,080kg																									
平成 28	5,960kg	49,980kg																									
平成 29	6,510kg	54,360kg																									
平成 30	6,780kg	84,790kg																									
平成 31	9,730kg	59,430kg																									
	18	生活排水対策	岩国市	公共用水域保全のための情報提供を行う。 浄化槽の保守点検や清掃に関する啓発、指導を行う。 公共下水道等整備地区における早期接続、その他地区における単独から合併浄化槽への切り替え促進のための啓発、指導を行う。	平成 26 年度～ 平成 31 年度	広報誌により保守点検や清掃に関する啓発を行った。 公共下水道整備地区においては、地元説明等を実施し、早期の下水道への接続を呼び掛けた。 その他地区における単独から合併浄化槽への切り替え促進のため、浄化槽設置補助金に宅内配管工事の加算を設けた。																					
処理体制の構築、変更に関するもの	21	ごみ分別区分の検討	岩国市 和木町	現状の分別収集を継続しつつ、資源化率や収集・処理の効率化のための検討を行う。	平成 26 年度～ 平成 31 年度	岩国市：広報誌によりマイバッグ利用の啓発を行うとともに、イベント出展時にマイバッグを配布し利用促進を図った。 和木町：広報誌によりマイバッグ利用の啓発を行った。																					
	22	事業系一般廃棄物対策	岩国市	事業者へ減量化、資源化の取り組みを指導、多量排出事業者には計画書を作成させる。	平成 26 年度～ 平成 31 年度	「事業系ごみの適正な処理について」と題するパンフレットを作成、配布した。 また、多量排出事業者には条例に基づき廃棄物の減量及び再利用に関する計画書を作成し、提出させた。																					
	23	生活排水処理の現状と今後	岩国市	公共下水道や集落排水処理施設が整備されていない地域で合併処理浄化槽の整備を進める。	平成 26 年度～ 平成 31 年度	合併処理浄化槽設置整備事業により、合併処理浄化槽の整備を進めた。																					

処理施設の整備に関するもの	1	エネルギー回収推進施設(熱回収)	岩国市	新ごみ焼却施設を整備し、エネルギーの有効利用を推進する。	平成27年度～平成30年度	平成31年度から本稼働した新焼却施設サンライズクリーンセンターは、熱回収による発電を行いエネルギーを有効利用している。																				
	2	浄化槽整備	岩国市	公共用水域の水質保全のため、浄化槽の普及を図る。	平成26年度～平成31年度	合併処理浄化槽設置整備事業により、合併処理浄化槽の普及を図った。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>個人設置型</th> <th>市町村設置型</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成26</td> <td>184基</td> <td>10基</td> </tr> <tr> <td>平成27</td> <td>174基</td> <td>9基</td> </tr> <tr> <td>平成28</td> <td>183基</td> <td>6基</td> </tr> <tr> <td>平成29</td> <td>208基</td> <td>3基</td> </tr> <tr> <td>平成30</td> <td>173基</td> <td>3基</td> </tr> <tr> <td>平成31</td> <td>148基</td> <td>6基</td> </tr> </tbody> </table>	年度	個人設置型	市町村設置型	平成26	184基	10基	平成27	174基	9基	平成28	183基	6基	平成29	208基	3基	平成30	173基	3基	平成31	148基
年度	個人設置型	市町村設置型																								
平成26	184基	10基																								
平成27	174基	9基																								
平成28	183基	6基																								
平成29	208基	3基																								
平成30	173基	3基																								
平成31	148基	6基																								
その他	41	不法投棄対策	岩国市 和木町	不法投棄防止のためのパトロールの継続、不法投棄されにくい環境の整備	平成26年度～平成31年度	不法投棄防止のためのパトロールを行うとともに、不法投棄禁止の看板を作成し配布した。																				
	42	災害等廃棄物に対する対策の推進	岩国市 和木町	「地域防災計画」に従い適正処理を行う。また、岩国市においては、災害廃棄物処理計画の改定を行う。	平成26年度～平成31年度	平成31年3月に岩国市、和木町の災害廃棄物の迅速かつ適正な処理を図るために、「岩国地域災害廃棄物処理計画」を策定した。																				

3 目標の達成状況に関する評価

<p>(ごみ処理)</p> <p>1 排出量 総排出量については、平成24年度実績49,413tに対して12.3%減の43,351tを計画目標年度(令和2年度)の目標値として定めたが、令和2年度実績は平成24年度実績に対して7.5%減の45,714tにとどまり、目標値の達成には至らなかった。 事業系、生活系別の総排出量についても目標値は達成できなかったが、1事業所当たり及び1人当たりの排出量は再資源化量が増えたため目標値を達成できた。</p> <p>2 再生利用量 直接資源化量は、目標達成とはならず、平成24年度実績と比べても減少する結果となった。これは、ペーパーレスによる紙資源の減少や新聞店等による自主回収が要因と考えられる。 総資源化量は、平成31年度から本稼働したごみ焼却施設(サンライズクリーンセンター)でのエネルギー回収分が資源化量に加わったことから、目標値を達成することができた。</p> <p>3 エネルギー回収量 目標値達成には至らなかったが、平成31年度から本稼働したごみ焼却施設でエネルギー回収を始めた。</p>

4 最終処分量

最終処分量は、平成 24 年度に比べ 25%程度減少したものの目標達成には至らなかった。

(生活排水処理)

汚水処理人口普及率は、平成 24 年度の 60.2%に対し令和 2 年度は 74.8%と着実に向上し、目標の 73.4%を達成できた。事業別にみると、公共下水道については、汚水衛生処理人口及び普及率ともに目標値を下回る結果であり、この要因としては雨水または汚水幹線整備に重点を置き取り組んだため、限られた予算の中で面整備に重点的な予算配分ができなかったことが考えられる。施設整備が終了している集落排水施設については、処理区域内の人口減少率が想定より大きかったことから、目標値を下回った。合併処理浄化槽については、目標値を上回る結果となっており順調に整備が進んでいる。

(都道府県知事の所見)

【ごみ処理】

再生利用量については目標を達成しているものの、その他の項目については未達成であった。特に、事業系ごみの排出量の削減に課題がある。

未達成の項目については、その要因等を踏まえて、達成に向けた方策を検討すること。

【生活排水処理】

全体の汚水衛生処理率は目標を達成できているものの、公共下水道に係る処理人口・処理率の進捗が芳しくない。

集落排水処理施設等にあっては、処理区域内の人口減少の影響で処理率が後退しているが、合併処理浄化槽の整備が計画的に実施されており、処理率が現状から 9.7ポイントも向上している。

未達成の要因等を踏まえて、達成に向けた方策を検討すること。